



宇宙科学振興会様にご支援頂き、米国コロラド州デンバーにて2011年4月4日~2011年4月7日に開催された52nd Structures, Structural Dynamics, and Materials Conference (SDM)に参加しました。本学会では、主に航空、宇宙関係のゴサマーシステム、適応構造、最適設計、構造力学などについて発表がありました。

私は、4月5日に行われたIKAROSセッションにて発表を行いました。IKAROSセッションでは、昨年、日本が世界で初めて軌道上運用を成功させたスピン展開型ソーラーセイルIKAROSの設計法、軌道上データの解析などが議論されました。私の発表はIKAROSなどのゴサマー多体宇宙構造物の設計時の計算コストを抑える低次元モデルの構築法に関するもので、「Low-Order Model of Spin Type Solar Sail Dynamics by Empirical Model Reduction」というタイトルで発表を行いました。自らの発表や他のセッションを通して参加者の方々と議論する事ができ、自分の研究をまた違う視点から見る良い機会となりました。また、研究発表以外でもKeynoteやLectureなどが毎日開催され、自分の研究分野はもちろん他分野に関しても新たな知識を得る事ができ、有意義な経験ができました。

最後に、宇宙科学振興会さまのご支援により非常に有意義な経験をする事ができました。本学会を通して得られた経験を糧に、研究者として成長していきたいと思っています。ご支援頂いた関係者の方々に心より感謝致します。ありがとうございました。

